

本庄から核兵器の 禁止を!

核兵器全面 禁止のアピール

1945年8月、広島と長崎に落とされた原爆は一瞬のうちに二つの街を廃墟に変え、21万人の人々の命を奪いました。いまなお20万を超える被爆者が苦しんでいます。この悲劇をいかなる地にもくり返してはなりません。

いま核兵器の廃絶を求める声は世界にひろがっています。多くの国で市民が行動し、政府がその実現を支持しています。ヒロシマ・ナガサキをくり返させないもっとも確かな保証は核兵器を全面的に禁止し、廃絶することです。

2010年5月の核不拡散条約(NPT)再検討会議では、核保有国を含む189の国々が「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを決めました。いま、それを実行に移すときです。

あなたの
署名を国連へ

私も署名
しました

私たちは
すべての国の政府に
すみやかに核兵器禁止条約の
交渉を開始するよう求めます。

非核平和都市宣言
のまち本庄

吉田信解 (本庄市長)
高橋和美 (本庄市議会議長)
茂木孝彦 (本庄市教育長)
小林芳男 (本庄市自治会連合会会長)
高橋茂雄 (本庄市児玉郡医師会長)



茂木 稔
元本庄市長



岡 三郎
青山学院大学名誉教授



北沢 文武
郷土史家・元中学校教諭



畑田 重夫
本庄市非核平和都市宣言
の碑 揮毫者



小暮 昭三
元本庄市収入役・
元JA埼玉ひびきの組合長



加藤 玄静
城立寺住職

私たちが
賛同しています

- ・大野 英子 (北原白秋賞受賞、元小学校教諭)
- ・立川 源定 (本庄市自治会連合会会長代行)
- ・竹内清四郎 (本庄市老人クラブ連合会顧問)
- ・岩田 龍司 (幼稚園理事長)
- ・江原 清吉 (元中学校教諭)
- ・江原 恒夫 (元本庄市老人クラブ連合会会長)
- ・木村登志男 (元児玉町長)
- ・小茂田広志 (本庄市児玉町)
- ・金澤 利行 (金澤接骨院院長)
- ・織茂 香葉 (書道家)
- ・中村 民夫 (画家)
- ・中村 忍 (早稲田大学本庄高等学院教諭)
- ・笠本 元治 (元本庄市農協組合長)
- ・井田 誠治 (株式会社井田建設株式会社社長)
- ・坪谷 省治 (本庄市豆腐商工組合代表)
- ・鯨井 武明 (JA埼玉ひびきの農業協同組合代表理事組合長)
- ・江原 栄一 (元本庄市商工会議所副会頭)
- ・久保田剛久 (進寿司)
- ・竹並 紀松 (竹並建設株式会社社長)
- ・染野 孝吉 (元浦和高校教諭)
- ・中村 博 (元本庄市子ども会育成会会長)
- ・山田 勝治 (前トラック協会本庄児玉郡支部部長)
- ・飯野 敏明 (牧師)
- ・オードリック・フィッセル (神父)
- ・戸塚 和希 (元本庄市農業委員会会長)
- ・渡辺 茂一 (元本庄市花の会会長)
- ・矢島 文江 (たんぼぼ保育園園長)
- ・竹田 隆子 (元小学校教諭)
- ・境野 政紀 (株式会社境野鉄工社長)
- ・福島 巖 (前本庄市教育長)

[順不同・敬称略 2011年4月20日現在]

「核兵器全面禁止のアピール」国際署名キャンペーン市民実行委員会

原水爆禁止本庄市協議会 (本庄民商気付・本庄市西富田448-8 / TEL 0495-21-6265)

ノーモア・ヒロシマ ノーモア・ナガサキ
For a Total Ban on Nuclear Weapons.

—核兵器の禁止を— あなたの署名を 国連にとどけます



核兵器のない世界へ 高まる気運

みなさん、いま、核兵器の廃絶へ、世界が大きく動こうとしています。

2010年5月、ニューヨークで189カ国が参加して「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを決めました。8月には、潘基文(パン・ギムン)国連事務総長が広島・長崎を初めて訪れ、被爆者の生きているうちに「核兵器のない世界」を

現しようと呼びかけました。

同年秋の国連総会の軍縮審議でも、核兵器を禁止する条約の交渉を始めようという提案に、国連加盟国の3分の2の国が賛成しました。この中には核保有国の中国や核不拡散条約(NPT)に加盟していないインド、パキスタン、北朝鮮も含まれています。

一人ひとりの声が世界を動かす

みなさん、私たち一人ひとりの声と行動がいま、国際政治を動かしています。

「核兵器のない世界」を実現させるために、2011年2月15日、核兵器の禁止を求める新たな署名運動が被爆地広島、長崎からスタートしました。

新しい署名運動は、世界でただひとつ原

爆の被害を体験した国民の運動として、ヒロシマ・ナガサキをくり返さないよう強く求め、すべての国の政府に、核兵器全面禁止条約の交渉に踏み切るようよびかけるものです。毎年、すべてが国連に届けられます。

人類と核兵器は共存できない

みなさん、いまでも世界には2万発もの核兵器が貯蔵・配備され人類の生存を脅かしています。核兵器を「抑止力」や「核の傘」などの名で正当化する動きや、北朝鮮問題など核兵器拡散の危険も続いています。

しかし、核兵器で人類の生存と安全をはかることはできません。広島や長崎を繰り返させない唯一の確実な手段は、核兵器を廃絶することです。あなたも是非、新しい署名にご協力ください。

「核兵器全面禁止のアピール」国際署名キャンペーン

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター6F 日本原水協気付 / TEL 03-5842-6031 / <http://www.antiatom.org/>